

## 【事例 1】 地域福祉を考える集い

実施年度	平成15年度～17年度(予定)	連携・協働形態	委託												
事業内容	<p>地域福祉プロモーター養成事業(地域福祉活動の核となる人材の育成,確保)          地域福祉プロモーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム:これからの地域福祉,住民参加の手法・実践等</li> <li>・対象人数:100名</li> <li>・研修期間:20時間</li> </ul> <p>地域福祉を考える集い開催事業(地域住民の理解と協力を促すための啓発)          実践型のシンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ:地域福祉を考える(仮称)</li> <li>・プログラム:先進事例の紹介,ワークショップ等</li> <li>・対象人数:50名</li> <li>・開催回数等:5回(水戸市,高萩市,鹿嶋市,龍ヶ崎市,下館市)</li> </ul>														
連携・協働の範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画</th> <th>実施</th> <th>実施後の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>NPO</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				計画	実施	実施後の評価	行政				NPO			
	計画	実施	実施後の評価												
行政															
NPO															

### (行政)

茨城県	保健福祉部	担当課	厚生総務課	電話	029-301-3129
-----	-------	-----	-------	----	--------------

### 連携・協働事業を行ったきっかけ (発意者:NPO)

- ・ NPO団体が築いている地域に密着した人的ネットワークを活用した多様な人材の掘り起こしや住民主体による様々な地域福祉活動の充実を図るため,事業実績のあるNPO団体を選定し事業を委託することとなった。
- ・ また,事業を委託することにより,財源・人的支援により企画運営ノウハウの活用,スタッフの資質の向上を図り,NPO団体の組織力の強化を促進する。

### 役割分担

- NPO側: 事業計画に基づき事業を実施する。  
 行政側: 事業実施に係る指導・支援(PR等)

### 連携・協働によるメリット等(事業成果)

#### 住民参加による地域福祉活動の推進

- ・ 地域に密着した人的ネットワークを活用した多様な人材の掘り起こしや住民主体による様々な地域福祉活動の充実が期待できる。

#### 育成及び活動の充実・支援

- ・ 財源・人的支援による企画運営ノウハウの活用,スタッフの育成

#### 連携・協働する上で配慮した点

- ・ 他の団体への呼びかけ，参加協力
- ・ 事業の進捗状況の把握など情報の共有化  
運営委員会等への参加

#### 課題と対応

- ・ 県事業の受託実績が少ない。
- ・ 県全域に対応可能な団体が少ない。
- ・ NPO団体について地域住民の認知度が低い。

#### 連携・協働の今後の展望

3カ年の事業実施を予定しているが，本事業で養成した人材や事業に協力が得られたNPO団体など県各地で様々な福祉活動を実施する人的ネットワークを広げ，地域福祉活動の活性化をはかっていきたい。

#### (協働相手のNPO)

団体名	茨城NPOセンター・ commons	電話	029-300-4321
住所	〒310-0063 水戸市五軒町2-2-23-102		

#### 連携・協働事業を行ったきっかけ (発意者:NPO)

住民参加による地域福祉計画づくりをすすめるために，市民，NPO，ボランティア，社協，行政など多様な立場の人が集う研修を行うことになり，各方面に働きかける上で官民協働で実施することにした。

#### 連携・協働によるメリット等(事業成果)

県地方福祉事務所の働きかけもあり，開催地周辺の市町村担当者をはじめ，幅広い参加を得ることができた。

#### 連携・協働する上で配慮した点

本庁のみならず出先の福祉事務所にも事業趣旨を説明し協力を得た。

#### 課題と対応

市民向け行事なので休日に実施したが，公務員の方には参加しにくい面があった。参加者を集めるためには早めに各ルートに流す必要がある。

#### 連携・協働の今後の展望

地域福祉プロモーター養成研修と地域福祉を考える集いが事業化されたので，成果を上げていきたい。